

令和5年度 宮城県の歯科口腔保健事業の 取組状況について (健康推進課)



目次

・ 妊娠期における歯科保健対策事業	1
・ 宮城県歯科保健大会	2
・ フッ化物洗口普及事業	3
・ 幼児歯科保健関係者研修会	4
・ 学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会	4
・ 学童期・思春期の歯周病予防啓発事業	5
・ 職域に対する歯科保健普及事業	6
・ 働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業	6
・ 多分野連携プログラム事業	7
・ 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業	8
・ 在宅歯科医療連携室整備事業	9
・ 障害児・者歯科保健・医療体制整備事業	11
・ 在宅及び障害児（者）歯科医療連携室整備推進事業	12
・ 障害児親子歯みがき教室	13
・ 市町村歯科保健担当者研修会（意見交換会）	14
・ 口腔保健支援センター設置・運営事業	15

妊娠期における歯科保健対策事業

■ 事業目的

妊産婦等を対象とした歯科口腔保健に関する啓発冊子を増刷し、産科医院、助産院市町村の関係機関を通じ配布するもの。

■ 事業主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

- ・「妊娠期からはじめるお口の健康」パンフレットを11,000部増刷し配布
- ・産科医院、助産院向けにリーフレット（歯科健診受診勧奨のお願い）を併せて配布



宮城県歯科保健大会

■ 事業目的

家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする。

■ 実施主体 一般社団法人宮城県歯科医師会・宮城県・宮城県教育委員会

■ 事業実績

・ 11月4日 各種コンクール最優秀賞等受賞者の表彰式をTKPガーデンシティで開催

・ 歯科保健大会動画の公開 期間：11月～2月末まで 宮城県ホームページで公開
(動画の内容)

特別講演：「美と健康と歯科保健～美しく活力あふれる口元に～」
スマイルトレーナー 浅野 道子氏、ほやドル萌江氏

事業所における歯科保健の取組の事例紹介

歯科保健大会表彰式の様子のご紹介

・ 宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞作品展
県庁1階ロビー 11/6～17

・ 宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターカレンダーを作成



フッ化物洗口普及事業

■ 事業目的 市町村への技術的支援、財政的支援によりフッ化物洗口の円滑な導入を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

技術的支援

- ・ フッ化物洗口マニュアル、啓発媒体、研修資料等の作成及び提供
- ・ フッ化物洗口に関する市町村職員への研修
- ・ その他のフッ化物洗口の円滑な導入手順の確立に必要な支援

財政的支援

事業の実施に関し市町村が要した経費に係る補助（補助率1/2）

■ 事業実施期間 平成30年度から令和5年度まで（6カ年）

■ 事業実績

① 1町（柴田町）が新規に事業開始

フッ化物洗口導入支援実績がある市町村数：R6末現在で17市町村

② 新規導入施設 幼保施設7施設

③ 施設職員向け説明会講師派遣（1回）

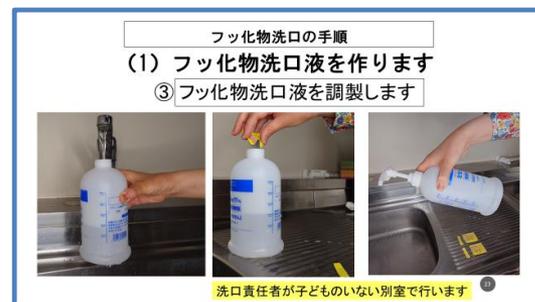
④ 施設職員及び小中養護教諭向け

研修会講師派遣（1回）

⑤ 導入時の技術的助言・支援（随時）

⑥ フッ化物洗口マニュアル改定及び配布

令和4年12月8日に国から「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方について」の通知が発出されたことを受けて、感染症対策等について追記



幼児歯科保健関係者研修会

■ 事業目的

幼稚園・保育園・認定こども園職員、市町村母子保健・歯科保健担当者等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため研修会を実施する。

■ 事業主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「乳幼児期における歯科口腔保健～上手に歯をみがぐために～」をテーマに研修動画を作成（宮城県口腔保健支援センター作成）

※幼稚園・保育園・認定こども園職員、市町村母子保健・歯科保健担当者等に向けて周知



学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会

■ 事業目的

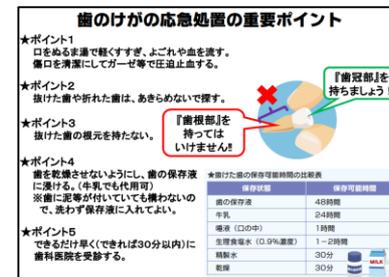
小中学校教職員（主として保健主事、養護教諭）等に対する研修会を実施し、学童期における歯科口腔保健を推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「運動時等の歯の外傷とその対応等について」をテーマに研修会（動画配信形式）を開催（R6.2.29現在 298回再生）

研修講師：独立行政法人日本スポーツ振興センター
災害共済給付事業仙台業務推進課



職域に対する歯科保健普及事業

■ 事業目的

事業所での歯科健診や従業員に対する歯と口腔の健康づくりに関する情報発信を通じ、事業所の歯科保健の取り組みを推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

従業員への歯科健診や研修等を行っている企業5社の取り組み内容を県ホームページに掲載。好事例の横展開を図った。今後も情報収集のうえ追加予定。

働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発を図るため、事業所における従業員への歯科保健の取組を推進する。（R4、R5は運輸運送業関連事業所等と連携し実施）

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

タクシー会社（県内2か所の事業所、従業員数：計約200名）と連携し実証事業を実施。事業所の水場で歯みがきができる環境を整備いただいた上で、従業員に口腔ケアグッズを配布。毎食後の歯みがきを促した。今後、取組結果（従業員の行動変容等）について検証し、県ホームページ等で御紹介予定。



多分野連携プログラム事業

■ 事業目的

忙しく家族とゆっくり食事をする時間がとれないことがある働き盛り世代や、家族での食事の時間を大切にしていきたい子育て世代を主な対象に、食育や歯の健康づくりに関して考える機会を提供、歯と口腔の健康や食育、肥満防止につながる食事の仕方などについて普及啓発を行う。

■ 実施主体

宮城県、宮城県歯科医師会 協力：宮城県歯科衛生士会、宮城県栄養士会

■ 事業実績

（事業概要）

食習慣や口の健康づくりに関するチェックリスト実施者に、抽選で健康づくりを応援するプレゼントの送付や体験型イベントへの招待を実施。家族ぐるみで学び、考える機会を提供。

（体験型イベントの内容）

11月23日 仙台市内で開催（15組 39名参加）

- ① 宮城県出身のスパイス料理研究家 印度カリー子氏によるミニ講話
- ② 来場者による、印度カリー子氏監修のポークビンダルーカレーの試食会
- ③ 健康づくりに関するミニ講話

講師：宮城県歯科医師会、宮城県歯科衛生士会、宮城県栄養士会

- ④ 会場内ブースの展示鑑賞や健康づくりに関する体験コーナーでの体験学習

要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業

■ 事業目的

要介護者及び障害児・者の歯と口腔のケアを担う歯科医師、歯科衛生士及び介護等に
従事する職員等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため、研修会を実施するもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績

介護職員や社会福祉施設関係者等多職種を対象とし、要介護者、障害児・者等の口腔ケア
に関する知識、技術向上を目的とした研修（WEB研修・オンデマンド配信含む）を開催。

●要介護者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数 (申込者数)	動画再生回数
11月25日	施設における口腔衛生管理加算の基本サービス移行について	東北福祉大学 教授 渡部芳彦 先生	Web形式	109名	1,165回
		宮城県歯科医師会 常務理事 相澤俊彦 先生			
12月2日	“在宅”緩和ケア患者へ口腔ケアを届けるためには ～田舎の地域連携 ある意味最先端？最前線？～	太田歯科医院 菅野真人 先生	現地	25名	—
1月14日	気づいてほしい、要介護者のお口の問題 ～口腔ケアの必要性と方法～	宮城県歯科衛生士会 副会長 人見早苗 先生 副会長 前沢葉子 先生 会 員 本間裕子 先生	現地	49名	—

●障害児・者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数 (申込者数)	動画再生回数
12月16日	「食べるっていいね」 ～それぞれの持っている力を育むために、私たちができること～ (後日Web配信)	宮城県立こども病院 リハビリテーション・発達支援部 言語聴覚士 畑崎麻衣子 先生 言語聴覚士 阿部 由香 先生	現地 (後日Web配信)	30名	137回
1月27日	障がい児・者の口腔ケアについて	桶狭間病院藤田こころケアセンター 歯科 (愛知県歯科衛生士会 副会長) 渡邊理沙 先生	Web形式	108名	143回

在宅歯科医療連携室整備事業

■ 事業目的

口腔内に問題を抱えている在宅の要介護者・障がい者及びその家族等のニーズに応え、在宅歯科における歯科や介護等の他の分野とも連携を図るための窓口を設置することにより、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図るもの。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業概要

宮城県歯科医師会館内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、下記の業務を実施。

- (1) 口腔ケアに関する相談対応
- (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
- (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出
- (4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

■ 事業実績(R6. 2. 29現在)

- (1) 口腔ケアに関する相談対応
相談件数： 172件
在宅歯科医療実施医療機関数： 222件
障がい児・者歯科医療相談窓口設置医療機関数： 78件
- (2) 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
在宅歯科医療機関紹介数： 128件
- (3) 在宅歯科医療機関への機器の貸出
在宅歯科医療機器貸出件数： 1件

(4) 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発
在宅歯科医療ハンドブックの作成及びみやぎ訪問歯科相談室研修会（WEB開催予定）
の実施

日時	演題	講師
3月25日	「はじめての在宅歯科医療ハンドブック」活用術	宮城県歯科医師会 在宅歯科部会部員 山崎 猛男 先生

障害児・者歯科保健・医療体制整備事業

■ 事業目的

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療所に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健医療体制の拡充を推進するもの。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成
- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた施設整備

■ 事業実績(R6. 2. 29現在)

- (1) 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成

【運営会議等】

開催回数：4回

検討事項：・セミナー実習内容と方法の詳細について
・購入薬剤について 等

【人材育成研修】

開催回数：8回 受講者数：76名（延べ746名）

- (2) 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた設備整備

整備内容：シリンジポンプ他静脈内鎮静法に関する機器、
レストレーナー（小児向け抑制具）、ビデオ咽頭鏡等 各1台

在宅及び障害児(者)歯科医療連携室整備推進事業

■ 事業目的

各医療圏に在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助するもの。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会 (補助率2/3)

■ 事業概要

在宅の要介護者等に対する歯科保健・医療の相談・診療窓口機能を整備するため下記を実施。

- (1) 既存窓口への専門職配置
- (2) 運営委員会の開催

■ 事業実績(R6. 2. 29現在)

- (1) 既存窓口への専門職配置
 - ・みやぎ訪問救急ステーション対応件数
訪問回数：932回 訪問回数中の専門的口腔ケア：331回
- (2) 運営委員会
1回開催
- (3) 歯科医療連携室合同協議会
1回開催

障害児親子歯みがき教室

■ 事業目的

障害児・者については、障害児・者自身と保護者による適切なセルフケアの徹底が必要であることから、歯科口腔保健に対する講話及び歯科保健指導を実施し、意識啓発と技術習得を図るもの。

■ 委託先

一般社団法人 宮城県歯科衛生士会

■ 事業実績

県内2か所の児童発達支援施設で親子歯みがき教室を実施

- ・ 10月4日 石巻市「石巻かもめ学園」（5組 11名参加）
- ・ 12月7日 岩沼市「みいんななかよし いわぬま」（3組 11名参加）

市町村歯科保健担当者研修会(意見交換会)

■ 事業目的

次期計画策定に向け、各地域の現状と課題、各市町村の取組や意見を把握し、次期基本計画の推進の方向性を検討することを目的に、地域ごとに市町村歯科保健担当者との意見交換会を開催する。

■ 主催 宮城県口腔保健支援センター・宮城県

■ 事業概要

(実施方法等)

- ・市町村歯科保健担当者、保健所及び健康推進課の歯科保健担当者並びに宮城県口腔保健支援センターの歯科専門職員が保健所の会議室等を会場に集合し、相互に意見交換等を行う形式で実施。

(実施時期等)

実施日時、場所	出席市町村名	市町村職員 出席者数	県職員出席者数 (保健所職員含む)
令和5年5月12日(金) 大河原合同庁舎	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町	12名	5名
令和5年5月22日(月) 石巻合同庁舎	石巻市、東松島市、登米市、女川町	6名	5名
令和5年6月6日(火) 塩釜保健所	塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町	9名	10名
令和5年6月13日(火) 気仙沼保健所	気仙沼市、南三陸町	3名	6名
令和5年7月4日(金) 塩釜保健所岩沼支所	名取市、岩沼市、亘理町、山元町	7名	9名
令和5年7月10日(月) 大崎合同庁舎	栗原市、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町	10名	7名
令和5年5月18日(金) 塩釜保健所黒川支所	富谷市、大和町、大郷町、大衡村	7名	8名

※仙台市については、取組状況や課題、要望等を紙によるアンケート形式により調査。

(主な内容)

- ・県から、宮城県のむし歯等の状況及び令和4年度に実施した県の歯科調査結果を報告。
- ・統計結果を踏まえ、市町村の感想や日頃の課題意識について意見交換の上、ライフステージごとに歯科保健事業の取組について情報交換。

※詳細は、令和5年10月25日の令和5年度第2回宮城県歯科保健推進協議会で報告済み

口腔保健支援センター設置・運営事業

■ 事業目的

本県の歯科保健事業の充実・強化を図り、関係機関・団体との連携を強化するため、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、「口腔保健支援センター」を設置・運営。

■ 組織体制

センター長、副センター長、歯科医師（非常勤職員）1名、歯科衛生士（会計年度任用職員：フルタイム）1名

■ 事業実績

※各事業についてはP11～P111に掲載
(上記以外のもの)

- ・ 第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の評価と第3期計画の策定
- ・ 幼保施設での歯みがき教室の実施に関する市町村支援（蔵王町）
- ・ 市町村支援の一環として、むし歯予防のための間食のとり方に関するチラシを作成、今後市町村での歯科保健指導で活用を促す予定

